

市議会だより

市議会第1回定例会

平成24年市議会第1回定例会を、2月22日から3月22日までの30日間開催しました。

この定例会では総額593億7220万円の平成24年度予算13件、平成23年度補正予算5件、条例関係14件、一般議案59件、議員提案3件、合わせて94件を審議しました。審議日程は次のとおりでした。

▼2月22日の本会議1日目は、会期を30日間と決めた後、議案の説明が行われ、新年度予算特別委員会が設置されました。

▼3月2日の本会議2日目は、部設置条例の一部改正についてなど8件を可決しました。また、条例の一部改正や公の施設の指定管理者の指定、補正予算など70件をそれぞれ所管の各常任委員会に、平成24年度一般会計予算など13件の新年度予算は、新年度予算特別委員会に付託しました。

午後から代表質問と一般質問を行い、通告者16人のうち4人が、当局の姿勢や方針について質問をしました。

▼3月5日の本会議3日目は6人が、一般質問を行いました。

▼3月6日の本会議4日目は6人が、一般質問を行いました。

▼3月7日から19日は付託案件の委員会審査（総務厚生委員会11日、文教経済委員会11日、建設委員会11日、新年度予算特別委員会11日・14日・15日・19日）を行いました。

▼3月22日の本会議5日目は、各常任委員長と新年度予算特別委員長から付託案件の委員会審査結果の報告が行われ、採決の結果、各委員長の報告のとおりに可決されました。また、平成24年度一般会計予算については修正可決されました。また、条例制定1件は、閉会中の継続審査となりました。

また、議員提案3件を審議し、このうち、2つの特別委員会が設置されました。今定例会に付議された案件は継続審査とされた1件を除き、すべて議了し閉会しました。

代表質問

養護訓練センター整備

質問 今後の方針は

【答弁】 療育指導の必要な子どもの増加により、現在の3カ所の施設（関市養護訓練センター、中之保親子教室、武芸川ことばの教室）だけでは受け入れが限界とされますが、施設箇所数は極力増やさず、既存施設や活用されていない施設、土地などの利用を十分考慮し、施設の増設などで対応できないか検討しています。今後は、通所地域の見直しを進め、東部地域は現在の関市養護訓練センター、西部地域は武芸川ことばの教室の2施設で市全体をカバーできるように効率的で有効な施設整備を進めたいと考えています。

新年度予算案

質問 保健センター改修について

【答弁】 現在の保健センター建物は、建築から31年を経過していますが、耐震性は基準を満たしており、今後20年ほどの使用は問題がないと考えています。予算計上している設計業務では、市民の皆さんからいただいたさまざまな要望に、できる限り対応するために増改築を行うものであり、利用しやすい保健センターにしていきたいと考えています。

一般質問

関市墓地公園

質問 墓地公園の整備状況は

【答弁】 関市墓地公園は、昭和58年に第1工区1145区画と平成11年第2工区312区画を整備し、合計1457区画あります。第3工区については、平成20年に測量・設計を行い、当時は443区画約7900万円の計画を立てて検討しましたが、造成工事を見送ることとなり今日に至っています。

現在は、74の方が空きを待っている状況なので、今一度、庁内で検討する必要があると考えています。

学校給食について

質問 将来的に民間委託への方向性なのか

【答弁】すでに配送業務については民間委託をしています。調理業務についても、職員の高齢化や現状の人員体制を考慮しつつ、民間委託を含む管理運営体制の検討を進めているところです。民間委託を実施することになった場合には、学校給食センター運営委員会などで広く意見を伺うとともに、業者については、安全な給食を実施することに最も重点を置いて選定をします。なお、調理業務を民間委託した場合でも、献立作成や衛生管理、食材購入などに関しては、教育委員会の責任のもと行っていきます。

食物アレルギー

質問 食物アレルギーを持った児童生徒への対応は

【答弁】 市内で食物アレルギーを持った児童生徒数は、21年度63人、22年度62人、23年度65人です。洞戸、板取、武儀の小規模な給食センターでは、アレルギーの原因となる食品を除去したり、または違うメニューに置き換えたりといったきめ細かな対応をしています。8065人分の給食を作る関市学校給食センターでは、牛乳をカットしたり、ふりかけ、ドレッシング、デザートに限り、代わりの食品を提供しています。今後も一歩改善を図っていかなければならない重要な課題であると認識しています。

消防・防災体制

質問 関市消防団組織の現状と再編は

【答弁】 関市消防団の現在の団員数は1185人で、定数1315人に対し充足率は90・1パーセント、130人の定員割れとなっています。しかし、関方面隊の充足率97・2パーセントに対し、洞戸方面隊は72・9パーセントとなっており、地域によって団員の確保に大きな差があります。また、団員のサラリーマン化による昼間の非常備消防力の低下や高齢化も進んでおり、今後、地域を守る消防団活動を十分なレベルで維持していくため、団員

の確保は率先して取り組むべき課題だと考えています。また、消防団の再編については、消防団再編計画の策定により、本格的に取り組んでいく予定です。

地域事務所の職員

質問 地域事務所の職員は削減されているが、市民サービスへの影響は

【答弁】 地域事務所は、地域に密着した行政サービスの窓口としての役割や地域の各種行政課題に迅速かつ的確に対応する役割などを担っており、市民の皆さんにとって親しみやすく利用しやすい事務所とならなければならないと考えています。また一方では、行政組織のスリム化、効率化、財政の健全化という行政改革の趣旨により、簡素で効率的な組織への見直し、地域事務所や出先機関の見直し、職員の削減などにも取り組んでいかなければならない状況もありますので、ご理解をお願いします。

震災被災地のがれき

質問 受け入れについて検討すべきでは

【答弁】 がれき処理の受け入れについては、全国の自治体で広域に処理していかねばならないことは明白です。市としては、住民の理解を得ることが前提であり、また最終処分の問題などいろいろな課題があるため、現地の視察や情報の提供などをしていき、市民の声を聴きながら検討していきたいと考えています。

再生エネルギー

質問 住宅用太陽光発電システム設置補助金は

【答弁】 補助の対象は、個人の住宅に4月以降に太陽光発電システムを設置した方、太陽光発電システム付きの建売住宅を購入し4月以降に引き渡しを受ける方で、事前の申請が必要です。補助金額は1キロワット当たり2万円で4キロワットまで、上限8万円です。補助制度を利用しやすくするため、国への提出書類や、国からの決定通知の写しを添付するなど、手続きをできるだけ簡略化します。

保育事業

質問 民営化方針は

【答弁】 公立保育園については、政策総点検や第5次関市行政改革大綱により民営化を含む見直しが求められています。課題となっている耐震強度が満たされていない6園については富岡保育園から順次耐震改修工事を行うとともに、昨年度には関市公立保育所民営化等検討委員会を組織し、民営化等の諸問題や今後の保育のあり方について検討しています。また、国では幼稚園と保育園を一体化した「こども園制度」の創設が決まり、制度の内容を踏まえて民営化を進める必要があると考えています。公立保育園のやまゆり西・東両園を平成25年度当初に統合、24年度末の日吉ヶ丘の廃園は予定通り実施します。

予防接種

質問 助成の種類と実施体制は

【答弁】 乳幼児や小中学生に予防接種法により実施しているものは、生後3カ月から接種できるものとして、結核予防のためのBCG接種、百日咳、ジフテリア、破傷風などの3種混合ワクチン、小児麻痺予防のポリオワクチン、1歳以後に開始する麻疹、風しんワクチン、日本脳炎ワクチン、また、65歳以上高齢者のインフルエンザワクチンがあります。子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンについては、国の子宮頸がん等ワクチン接種促進事業実施要綱に定められた内容により実施しています。

母子生活支援施設

質問 つばき荘(母子生活支援施設)の今後は

【答弁】 つばき荘は、県や近隣自治会などの要請により、要支援の母子の受け入れを行ってきましたが、施設設置の最低基準を満たしておらず、老朽化も激しく、また採算性の問題や専門指導員の確保など課題も多いため、現状での事業継続は困難と判断しました。県とも協議した結果、平成24年度から3年間の休止届を県に提出し、受理されました。今後は、施設の有効活用などについて関係機関と協議を行い、利活用について検討する予定です。

生活保護

質問 生活保護の受給者数は

【答弁】 受給者数の過去5年間の推移は、年度当初で平成18年度82世帯95人、平成19年度73世帯79人、平成20年度72世帯76人、平成21年度97世帯97人、平成22年度140世帯179人、平成23年度185世帯252人です。特に、平成20年秋のリーマンショック以降、傷病世帯および稼働年齢世帯が急激に増加しており、平成24年2月末現在、181世帯237人が生活保護を受けている状況です。平成24年度には就労支援員を設置し、一人でも多くの生活保護受給者が就労によって自立できるよう、これまで以上に、きめ細かい支援を行っていきたくと考えています。

農業施策

質問 事業の成果と実績は

【答弁】 平成19年度から5年間、農地・水・環境保全向上対策事業を市内43組織、関市全体の農振農用地面積の約65パーセントに当たる1313ヘクタールで実施しています。道水路の草刈り、水路の泥上げ、農道、水路の補修などのほか、休耕田を利用したコシモス、ひまわり、そばなどの景観作物の栽培や、ため池の外來魚の駆除、ビオトープでの生き物観察など、各組織での趣向を凝らした取り組みにより、地域の中で、農村環境の保全、農

業基盤の改善や、融和と協働の意識向上が図られています。交付金は従来の約75パーセントになりますが、新年度からも5年間延長します。

財政の健全化

質問 健全な財政運営に関する条例の必要性は

【答弁】

健全な財政運営に関する条例は県内では多治見市に次いで2番目の制定となります。多治見市が財政緊急性宣言を発動した時ほど、関市は財政状況が悪化しているわけではありませんが、少子高齢化の進展や、雇用不安、急激な円高などの社会経済情勢が変化する中、長期的な視点に立つて、取り巻く環境の変化に対応した施策を自主的、総合的に実施するためには、健全な財政運営が不可欠であるという観点から、こうした条例の制定が必要であると考えています。また普通交付税算定替えの特例期間の終了が3年後に迫っていることから、できる限り早い時期から、より健全な財政状況を堅持することが望ましく、現段階での条例制定が必要であると判断しました。

学校の事故対応

質問 校内のけがに対応するマニュアルはあるのか

【答弁】

学校では、児童生徒に事故が起きた場合を常に想定して、救急体制を整えています。緊急対応マニュアル

を定めて、応急措置の方法、職員の役割分担、医療機関等との連絡方法などについて、職員間で徹底しています。事故発生時、保護者と確実に連絡が取れるよう、年度当初に「緊急時連絡票」の記載をお願いしていますが、今後は、対応マニュアルの内容についても、PTA総会や学級懇談会の際や、「学校だより」、「保健だより」を通じて保護者に周知していきます。

審議の結果

- ◎ 2月22日可決分
- ▼ 新年度予算特別委員会の設置
- ◎ 3月2日可決分
- ▼ 関市部設置条例の一部改正について
- ▼ 関市児童・アイ・サービスセンター条例の一部改正について
- ▼ 関市国民健康保険診療所条例の一部改正について
- ▼ 岐阜地域肢体不自由児母子通園施設組合規約の変更に係る協議について
- ▼ 岐阜県後期高齢者医療広域連合規約の変更に係る協議について
- ▼ 証明書の交付等の事務委託に関する規約の変更に係る協議について
- ▼ 公の施設の指定管理者の指定の変更について
- ▼ 関市国民健康保険武儀診療所及び関市国民健康保険上之保診療所
- ▼ 工事請負契約の変更について
- ▼ 武儀上之保地区簡易水道統合事業下岩水源地電気設備工事
- ◎ 3月22日可決分
- ▼ 条例の一部改正
- 《関市特定非営利活

動促進法施行条例、関市税条例、関市総合福祉会館条例、関市介護保険条例、関市勤労会館条例、関市営住宅設置及び管理に関する条例、関市都市公園条例、関市公民館条例、関市立図書館条例及び関市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例、関市消防団員等公務災害補償条例》- ▼ 関市過疎地域自立促進計画の変更について
- ▼ 関市辺地総合整備計画の策定について
- ▼ 中濃消防組合規約の変更に係る協議について
- ▼ 公の施設の指定管理者の指定について
- 《関市わかさ老人福祉センターほか5施設、関市洞戸・アイ・サービスセンターほか3施設、関市高齢者いきいき生活館いちよつの家、関市藤谷転作促進技術研修センター、関市志津野転作促進技術研修センター、関市戸田転作促進技術研修センター、関市農村婦人の家、関市小野構造改善センター、関市坊地構造改善センター、関市塔ノ洞環境保全農業推進センター、関市黒屋リフレッシュ倶楽部、関市下洞戸活性化センター、関市板取多目的研修会場、関市板取集落センター、関市黒屋リフレッシュ農園、関市田原リフレッシュ農園、関市洞戸自由農園、関市武儀楽らく農業学園、関市洞戸大豆等加工施設、関市洞戸農林産物処理加工施設、関市洞戸ふれあいらうんじ高賀、関市板取地域産品保木口販売施設、関市板取地域産品門原販売施設、関市富野農村広場、

関市ふどりの森管理センター、関市洞戸林業センター、関市板取林業総合センター、関市板取林業者研修宿泊施設、関市板取あじさい植物園、関市上之保林産物販売所、関市道の駅ラステンほらんど、関市道の駅むげ川、関市道の駅平成、関市板取コテージ湯屋、関市板取四季の森、関市TACランド板取、関市武儀八滝ウッドランド、小瀬鞆飼・鮎ノ瀬の里、関市洞戸生涯学習センター、関市板取生涯学習センター別館、関市立図書館、関市立篠田桃紅美術空間、関市洞戸円空記念館、関市武芸川ふるさと館、関市武芸川民俗資料館、関市立洞戸高賀山自然の家、関市千足体育館、関市板取体育館ほか4施設、関市洞戸運動公園及び関市洞戸テニスコート、関市板取運動公園及び関市板取テニスコート、関市ネイチャーランドかみのほ》▼平成23年度関市一般会計補正予算（第5号）▼平成23年度特別会計補正予算《国民健康保険（第4号）・下水道（第3号）・食肉センター事業（第2号）・簡易水道事業（第3号）》▼平成24年度特別会計予算《国民健康保険・下水道・財産区・中小企業従業員退職金共済事業・食肉センター事業・農業集落排水事業・公設地方卸売市場事業・介護保険事業・簡易水道事業・有線放送事業・後期高齢者医療》▼平成24年度上水道事業会計予算▼こころの健康を守り推進する基本法の制定を求める

意見書▼公共交通に関する調査特別委員会の設置▼自然エネルギーに関する調査特別委員会の設置
 ◎3月22日修正可決分
 ▼平成24年度一般会計予算
 ◎3月22日継続審査分
 ▼関市健全な財政運営に関する条例の制定について

新年度予算の修正可決

◆今定例会では昨年に引き続き、議長を除く全議員で構成する新年度予算特別委員会が設置され、4日間かけて平成24年度の予算について集中審議しました。特に今回は、初めて議員間の討議を実施し、各議員が議論を交わしました。そして、特別委員会において予算に対する修正案が議員から提出され、賛成多数で可決しました。

修正案は、関市保健センターの増改築設計業務と富野保育園・西部保育園の耐震設計業務について、既存施設の改修ではなく、新築も含めた再検討が必要などの理由により、これらの予算を減額する内容でした。新年度予算特別委員会でも可決した修正案は、本会議に諮られ、審議の結果、賛成多数で可決されました。

※次回の定例会は、6月4日（月）に開会の予定です。

（照会先）議会事務局 ☎23-9068

ぎふ清流国体・ぎふ清流大会コーナー

ミナモピックアップ



Vol. 13 ラグビーフットボール競技リハーサル大会 ボランティア清掃活動



このコーナーでは、ぎふ清流国体・ぎふ清流大会に向けての市民活動や関市国体推進課からのお知らせなど、いろいろな情報をミナモがピックアップしてお伝えします。

ラグビーフットボール競技リハーサル大会に来場される選手・監督、応援する皆さんを気持ちよくお迎えするために、グリーン・フィールド中池と中池多目的広場周辺でボランティア活動があり、約180人のボランティアがゴミ拾いや市内の中学生在がメッセージを書いた応援のぼり旗200本を設置しました。ゴミ拾いはラグビースクールの親子ら83人が中心になり、岐阜県から提供されたミナモのゴミ袋やミナモが印字された軍手を活用して、ゴミや落ち葉などを拾いました。また、ボランティア清掃活動の後には中池体育館でスナッグゴルフ教室が開催され、せきスポーツクラブの皆さんがスナッグゴルフの普及に取り組みられています。



ぎふ清流国体の開催に伴い、今年（平成24年）の第45回刃物まつりは、
10月13日（土）・14日（日）に開催します。

照会先 ぎふ清流国体・ぎふ清流大会関市実行委員会 ☎23-7755

